

## 地域密着型サービス自己評価票

- ・ 指定小規模多機能型居宅介護  
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- ・ 指定認知症対応型共同生活介護  
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19 年 12 月 10 日
事業所名	グループホームチアフル花明かり・友明かり 友
事業所番号	2372201380
記入者名	職名 氏名 岡上 淳子
連絡先電話番号	0 5 8 6 - 8 6 - 8 5 1 2

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	◎地域で認知症の方が普通に生活出来る大切さ、GHの役割等を話し合い推進を図っている。 ●散歩に行く時は近所の方とのコミュニケーションを大切にすることに心がけている。 ○散歩、買い物等で地域の方に会った時は生き生き楽しく生活されているんだ！と家庭の生活と同じだなあと思ってもらえるようにしている。	○  ◎管理者は地域における勉強会の講師として参加するのはどうだろうか？（老人会・婦人会等） ●理念を理解する中で利用者様に気軽に声をかけ、会話して頂ける様仲介していきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	◎リーダーミーティング等で理念が話題に上がっている。毎月のミーティングで介護の大切さ、理念について話題にしている。 ●日々理念を思い出しながら業務をしている。 ○1日1日を生き生きと暮らして頂ける様利用者さんと笑いのある家庭作りに心掛ける努力をしています。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	◎利用案内で明示している。フロアーには理念を額に入れさりげなく飾っている。 ●家族が見えた時は家族との時間も大切にしながら少しずつ事業所の事も解って頂いている。 ○散歩の時利用者様が楽しく散歩される様子や楽しく散策される様子、道行かれる人と立ち話をされる方もいる。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	◎管理者や職員は通勤時外出時に積極的に挨拶を行い、近隣の子供がポーチに出ていると手を振ったり声をかけている。 ●散歩に出かけた時はすれ違う方にも挨拶をする様に心がけている。又近くの畑で作業をされている方には少しの会話でも出来る様に心がけている。 ○散歩時地域の方に会った時は感謝の念が伝わる様に挨拶します。	○  ●近所の方の仲に入り一緒に会話出来る様にしていきたい。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	◎児童館での子供達との交流、地域の文化祭への展示作品を通し交流を図っている。週に一度のモーニングでは顔馴染みも出来ている。 ●夏祭り、文化祭、七夕祭り会等外に出掛け地域の方との、交流が持てるようにしている。 ○文化祭、夏祭り等地域の方々との交流に努めています。	○  ○地域の催し等を調べもっと参加しようと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>●色々なタイプの認知症の方がみえるので、その方に合った話の仕方や対処の仕方を勉強して行きたい。</p> <p>○今後、リーダーに相談しながら勉強します。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>○経験の浅い職員や経験年数を重ねた職員にも理解しやすい様レジメを作り勉強会を設けたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>○意識不足の為研修やリーダーに話しを聞き勉強したいと思います。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	◎契約時、重要事項入居者の権利擁護等を説明し、時間を使って説明する事でご家族の同意を得ている。 ●携わっていません。 ○携わっていません。	
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	◎利用者様の苦情等はないが職員間で対応策の取り決めをして速やかに対応、上司に報告、検討を行う様にしている。 ●利用者様の不満を溜めないように傾聴するように心がけている。 ○時々、手に負えず自分だ解決出来ない時はリーダーに意見を聞き対処しています。	○  ●利用者の不穏はフロアの職員で共有出来る様記録に残したり話をする様にしている。 ○勉強不足の為、リーダーや本等で勉強したいと思えます。
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	◎ホーム便りを通し行事、金銭出納長のコピーを共に家族に送り報告をしている。又来訪時には暮らしぶりや健康状態の気づきを知らせている。 ●家族とのコミュニケーションは特に大切にし、月に一度は利用者様の様子をわかって頂ける様にしている。 ○毎月ホーム便りを家族様に送り報告しています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	◎家族の来訪時に意見を聞きサービスの向上に活かしている。日頃より気軽に話して頂ける様呼びかけている。玄関には意見箱を設置して意見が頂ける様心がけている。 ●家族からの意見は職員同士で受け止めて次につなげていけるようにしている。 ○自分で判断無理な時はリーダーに相談しています。	
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	◎職員の意見等を積極的に話せる様、管理者の方より話かけて改善に向けていける様確認し合う場が多い。 ●時間のある時は自分の話に耳を傾けて下さる。いつと言う事はないが話しやすい雰囲気である。 ○ミーティングで解らない所を話し合い、リーダーに意見を聞き相談にのって頂いています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	◎急に休む職員がいても管理者がカバーしたり、他のユニットからの応援体制を作り調整している。各ユニットの職員もサポートしている。 ●利用者様の負担にならない様に勤務が作られている。 ○シフトに基付き勤務しています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	◎混乱を招かない様他の職員でサポートしている。日頃より全職員が行き来する場面を設け馴染みの関係も作っている。 ●利用者様が戸惑わない様にフロア全体が代わってしまう様な移動はされていない。 ○利用者様に退職者の事を聞かれた時はダメージのない様に説明させて頂いています。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	◎研修の機会も多い。職員のレベルに合わせた内容により参加も多い。勉強会の機会も作っている。 ●私はまだ1年に満たない為、色々な研修を受けさせて頂く事が多かった。いろんな刺激や経験を受ける事が出来て良かったです。 ○管理者より色々な研修を受ける様指導頂いています。	○	○都合のつく限り、研修に参加したいと思います。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	◎研修制度も整っており他のGHとの交流もあり情報交換も行っている。家族会では講師を招き入れた事もある。 ●勉強会や研修に行った後はミーティングの中などでフロアの職員同士の話し合いを行っている。 ○携わっていません。	○	●外部講師に来て頂き○J Tの研修や救命士による心肺蘇生法の勉強会に参加させて頂いている。機会があれば繰り返し勉強して行きたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	◎月1度の食事会、リーダー会の食事会を活用し管理者との話す機会は多いと思っている。3ユニットを月交代で昼食を共にしている。 ●体力的に疲れている時は周りの職員にフォローして頂いたり休憩の時間は一人でゆっくりする事でストレスを発散している。 ○食事会設けて頂いている為、その時に不安等を取り除きリーダー・職員達と分かりあえます。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	◎管理者は毎朝各ユニットを申し送りに回り、職員の意見を聞き反映している。リーダーに職員の努力の成果を聞いたり、資格取得の研修に参加出来る様努力している。 ●解らない事や仕事上の悩みはその都度リーダーに相談し助言して頂き少しでも好いケアが出来る様になっている。 ○毎日楽しく暮らして頂ける様目配り・気配り・心配りに心掛けています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	◎本人の現状を確認し他の入居者との共同生活に適しているかを見極め、しばらく遊びに来て頂く等、本人が馴染めるかを確認しあっている。初期段階では1対1の対応が多い。 ●携わる事はないですが、リーダーから話を聞き自分なりに受け止めている。 ○本人の気持ちを傾聴し、理解に努めています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	◎時間を掛けて説明し確認し合っている。本人の望む事を家族との聞き取りの中で受け止め安心して頂ける様努力している。 ●携わることはないです。 ○携わっておりません。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	◎入居継続を可能にする為家族、医療と連携を取り、時間をかけて話し合う機会を設けている。 ●携わることはないです。 ○ホームに親しんで貰える様に何を望んでみえるか話を聴く。その上リーダーに相談します。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	◎環境の変化には特に気を配り、家族の方と連携を図り、本人の不安を和らげる努力をしている。複数の職員の意見を聞き検討している。 ●リーダーより話を聞き受け入れる時は徐々に馴染みを持って安心して過ごせる様に心がけている。 ○散歩に行ったり自己主張を聞き徐々に親しんで頂ける様明るい雰囲気の中で暮らして行ける様心掛けています。	○  ○ここは楽しい所だな。と思って頂ける様コミュニケーションを図っています。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	◎人生の先輩として尊厳を抱き、教わる場面を多く作り出す努力をしている。個別対応をする事で喜怒哀楽を共にする事も多い。 ●利用者様とは孫の様な関係を持ちながら頼り教えて頂く事を中心に気持ちの中で支えて頂ける様心がけている。 ○利用者様は私達の行動をよく見られていて咳をすると「風邪ひいたのか」「私がやってあげるわ」等、お母さんみたいに言葉をかけてくださる。	○  ●全員の利用者様と同じ関係ではなく、又職員が偏りなく私となら何かをして頂けたりお安心して頂ける様なケアワーカーになって行きたいと思う。 ○親子、娘、孫と暮らしているのかな？と思って頂ける毎日を送って頂けるケアを目指しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	◎家族の方が来訪された時は意見・希望を気軽に話せる雰囲気作りをしている。家族の方には、楽しかったエピソード等を伝え安心して頂いている。 ●少しずつ家族にも顔を覚えて頂き利用者様の日々の事も話しながら信頼関係が持てる様にしている。 ○家庭での生活が困難でホームを利用される家族の気持ちを思いやり安心される様に努力しています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	◎ホーム便り等で本人の活躍ぶりを知らせたり年間行事には家族を招待する事で好い関係作りにむけ努力している。 ●今までの利用者の生活を知り仲に入りお互い好い関係でいられる様にしている。 ○このホームで良かった、と思われる様に日頃の言葉や行動に気配りしています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	◎本人の望む事を多く取り入れる事で今までの生活との変化のない様努力している。 ●馴染みの方と交流が持てる方は本人が疲れない程に付き添い持って行く。 ○ホームで利用者様が生き生き暮らされる姿を拝見して頂ける様に気配りしています。		
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	◎仲良し同士が過ごせる様配慮したり、世話役の人の力を発揮出来る場面作りを支援し個性を活かす事が出来る様努力している。 ●利用者1人1人の気持ちを考えを受け止めながら仲に入り仲良く過ごせるように心がけている。 ○利用者様が共同で行える様な作品を作ったり外出をし同じ空間を生活出来る様にしています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	◎電話等でホームの現状を伝えたり手紙をやりとりする家族がいる。 ●携わっていません。 ○携わっていません。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	◎職員間での情報を共有する事で本人の希望に繋がるケアをしている。 ●解らない時はその都度リーダーを中心に話し合いを持つ様になっている。 ○利用者様の希望を聞き自己解決出来ない場合、リーダーに相談します。	○  ●自分中心で言っている事や行っている事もあったかもしれないので1人一人の意思を聞き入れ取り組んで行きたい。
34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	◎アセスメントを作成しホームでの生活を支援出来る様職員間で把握している。 ●1人1人の生活歴を把握し好きな事をいつでも行えるように心がけている。 ○昔話を聞かせて頂きどのような生活をされていたのかを把握し毎日が落ち着いて過ごされる様心がけています。	○  ●皆一緒ではなく好きな事をして頂くのは1人でもかまわないのもっと1人1人の対応をして行きたい。
35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	◎生活のリズムは出来ている。職員間での把握も出来ており支援している。 ●病歴も把握した上での食事や運動レクをする様にしている。 ○その日の体調、気分を察し退屈されず散歩したり、買い物ランチ等に出かける努力をしています。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	◎ミーティング時に一人一人のニーズに合わせた介護計画を話し合い、活かしている。 ●毎月のミーティングの中で1人1人のケアや接し方を話し合い勉強している。 ○4ヶ月に1度利用者様に適した介護計画をリーダーの意見を聞き作成しています。	○  ●今までのケアの中で良かったこと出来なかった事を反省に改善していける様になっている。意見交換する中で対応策を考えている。
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	◎状態の変化に応じて見直しを行い、評価をする様にしている。家族に報告し了解を得ている。現場での変化に応じて行っている。 ●計画を立てる時は本人の気持ちにになり考えたり他の職員と話し合いを持ちながら作成している。 ○ミーティングにて話し合い対応出来なかった理由を考え解決しています。	



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	◎問題を把握しながら話し合い、今後の介護計画の見直しに活かしている。 ●日々緊張感を持って観察をしまわりの事に気づくようにしている。 ○生活記録に残し個別介護をリーダー、スタッフと話し合いながら実行しています。	○	●問題が発生した時はどの職員が対応しても共有出来る様に話をしたり記録で把握するようにしている。又次の目標や課題に活かせる様計画を見直して行きたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	◎同じグループの小規模多機能の受け入れ体制もある。医療連携体制も整っている。 ●利用者様に合わせて対応していける様に話し合いをしている。 ○他のフロアーの利用者様との交流も設け1箇所フロアーで孤立する事なく視野を広げています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	◎手芸・習字・太極拳等のボランティアの先生の支援で交流を深めている。 ●事業所に見えた方には笑顔で挨拶をする様にしている。 ○習字手芸太極拳コーラス等ボランティアの方々に来て頂き交流しています。		
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	◎移動美容室等の受け入れや、マッサージ・リハビリの先生の支援の受け入れをしている。 ●利用者のやりたい事や好きな事が出来る様に手助けしたい。 ○利用者様の希望によりマッサージを受けてみえる方もあります。		
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	◎運営推進会議ではセンターの職員の参加も毎回あり管理者が情報交換を行っている。 ●携わっていません。 ○携わっておりません。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	◎入居時に家族と話し合い、受診する医療機関を個別に決めている。ホームのかかりつけ医に受診出来る様対応している。 ●受診するときは家族に相談をし許可を得てから受診する様にしている。 ○往診、医療への受診を実施、家族に頼まれた時は代行します。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	◎かかりつけ医ではないが入居時の診断で職員が相談出来るような関係は保たれている。ホームのかかりつけ医の協力もある。 ●自分自身も認知症を理解しその人に合った支援、介助が出来る様にしている。 ○かかりつけの医院に相談しています。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	◎月1回の訪問看護の看護士との交流の中で本人が相談出来る様な関係は保たれている。夜間帯では看護職の職員も確保している。 ●利用者様のことを理解することにより何かの変化に気づき対処出来る様に気をつけている。 ○定期的に訪問看護を受け利用者様の不安を取り除いています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	◎見舞い等を活用し早期退院に向けて病院職員と話し合い退院後の受け入れを円滑に出来る様家族と協力しながら行っている。 ●携わった事はないです。 ○入院された時リーダーと相談し、お見舞いに行っています。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	◎家族の意向を尊重し、今後の方針を話し合いかかりつけ医との連携も対応出来る様になっている職員間でも共有している。 ●リーダーを通じ家族の考えを聞き、話し合いを行い、その人らしく合う介護をしていける様にしている。 ○終末期のケアについては経験がありません。	○	●自分の中でどこからが終末期なのかはまだ実際解らずにいるが先輩やリーダーとの話し合いや指導を受け取組んで行けたらと思う。 ○リーダーにアドバイスを受れたり、研修等で勉強します。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	◎かかりつけ医の確保はあるが、現在の所終末期の利用者はいない。 ●何かあった時にはすぐに対処出来る様常に話しあっている。 ○危険を伴う利用者様への注意、体調の変化に気を配り日頃の生活に変化がある時、リーダーに報告、連絡相談しています。	○	◎今後の体制の為にも終末期に対する勉強会職員確保の為の話し合いの機会を設けて行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>◎ご本人のアセスメントを作成し、環境の変化によるダメージを防ぐ為、ケアの継続的な支援を受けられる様情報の伝達をきちんとしている。 ●携わった事がないです。 ○携わっておりません。</p>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>◎本人の尊厳を保ち職員の意識を向上させる様教育はしている。年長者としてのプライドを傷つけないような言葉がけをしている。 ●言葉がけや接し方に気をつけ1人1人を尊重する様心がけている。 ○利用者様とのコミュニケーションを図っているつもりでも、時々暴言等に困る時があります。この様な時はリーダーに相談します。</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>◎意図的に引き出す取り組みを行う事で本人の希望や意見を中心にして支援している。本人が自分の意思で決定出来る様支援している。 ●本人が自己決定出来る様に働きかけたり助言する様にしている。 ○自己主張を良く聞きこの人は何をされたいのか確認をし、解らない時はリーダーに相談をしています。</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>◎見守りながら自由にその人らしい生活を送れるよう支援し、安心し満足感のある生活を送れる様職員の指導をしている。職員により差が出る時もある。 ●1人1人のペースを大切にしながらやりたい事をして頂ける様にしている。 ○その日の体調を把握しどの様に過ごしたいかを聞き、なるべく希望にそえる様心がけています。</p>	○	◎職員の少ない時間帯等の利用者の不安や混乱が起りやすい時の柔軟な対応が出来る様工夫していきたい。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>◎夏祭り等では浴衣を来て頂いたり楽しんでい。場面に合わせ入居者の好みを大切に服装の支援をしている。 ●その人らしい身なりが出来る様に手助けをしたり手伝いをするようにしている。 ○移動美容室を利用、本人の希望により理髪されています。服装は家族の方をお願いして頂いています。</p>	○	●出掛けるときだったら女性の方には少し紅をさして頂いたりピンで髪をとめたりと少しのお洒落を楽しんで頂ける様にしたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	◎食事のメニュー作りから参加して頂き、買い物も一緒に行い調理・配膳・洗物も一緒に行っている。季節感のある献立も取り入れている。 ●食べる事が好きな方が多いので食べたい物を聞いたり一緒に調理をする様に心がけている。 ○薄味にし、素材を活かし利用者様の好きな食べ物を一緒に作り方付け等も利用者様の負担にならぬ様に共同作業をしています。		
55 ○本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	◎おやつ時は、おやつ・飲み物は好きな品物を選んで頂いている。喫煙の場所も確保している。 ●1人1人好きな物を口にして頂ける様にしている。とり過ぎ、吸い過ぎには気をつけている。 ○おやつ時は何種類の中より好きな物を選んで貰ったり何が飲みたいか希望を聞きます。煙草を吸われる方には火の元を注意して頂いています。		
56 ○気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	◎戸外での散歩、食材やメニューを工夫して、自然排便を促す様努力している。チェック表をつけさりげなく誘導している。 ●前日の排泄状況を聞き、気持ちよくすっきり出ない方には食事を気をつける様にしている。 ○汚れた下着を洗われる方がいた場合さりげなく洗い場所を教えパット使用されている方は時間を見て誘導しています。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	◎適切な言葉がけで拒否も少ない。気のあった方との入浴もあり楽しんで頂いている。拒否の方には足浴を行う様にしている。 ●本人の希望を聞き入れながら mismatch にならないよう気をつけて入って頂いている。 ○自分で洗身できる方にも話をしながら時々洗髪や背中を流してあげると喜ばれる為時と場合で手伝う事があります。		
58 ○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	◎日中の活動に合わせてソファーにて昼寝をされる方や、自室で休息を取る方もいる。 ●疲れている時は休息をとりいつでも休んで頂ける様にしている。 ○天気の良い日は布団を干等をしソファーでゆっくりくつろいで頂いている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	◎各自の習慣や趣味を活かし楽しまれている。日常の生活の中で役割や出番を作り出し、時には個別対応している。 ●1人1人に合わせた対応気分転換が出来る様に話し合いの中で考えている。	○	●もっと個別の対応に心がけ1人1人が満足して頂ける様支援をしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	◎入居者一人の力量に応じ支援している。個人の財布を用意し本人の希望の品物が購入出来る様にしてある。 ●本人の希望を聞きながら使いたい時は使える様見守っている。 ○買い物をされたときはそばで見守りさせて頂いています。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	◎日課の様に話題にし、支援している。本人の希望場所への外出も多い。 ●利用者様よっての対応で散歩外出が好きな方には個々の支援をしている。 ○買い物に行きたい、散歩をしたい等希望される方は実施しています。散歩は全員行って頂ける様にしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	◎家族にはホーム側より働きかけている。希望に応じ応えられる様取り組みが出来る様努力している。 ●家族との外食や個別の対応が出来る様に話し合いをする中で計画を立てたりしている。 ○家族様との外食、墓参り等の機会を作り支援しています。		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	◎年間行事の招待状は自筆で送っている。自分で電話を利用出来る様公衆電話も設けている。 ●電話や手紙のやりとり等利用者様が自由に行えるようにしている。 ○電話される方は限られており本人希望時は電話口まで案内し手紙等は住所を代筆し出して頂いています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	◎家族の方の来訪は多い方である。気軽に来やすい雰囲気作りをしている。 ●来客が見えた時には明るく挨拶をしたりテキパキとした対応が出来る様に心がけている。 ○暖かく出迎え「来て良かった」と思われる様配慮しています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	◎本人が受けるダ精神的なダメージを理解している。職員間で話合っている。 ●解らない事はリーダーに聞いたりミーティングの中でも話題にあげ勉強する機会を与えて頂いている。 ○ミーティングで話し合い勉強しています。	○	◎職員間の差が出る時もあり、徹底的に理解出来る様努力して行きたい。


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	◎居室は特別な方のみ自分で管理されており、本人のくせを理解し対応している。見守りや連携プレーが出来る。 ●利用者様其々の対応として居室に鍵をかけられる方もいるがその方のストレスにならないようにしている。 ○歩行不安定で危険な方がありちょっとした隙に階段を下りられ時がある為転落防止に入り口に鍵をしています。理解出来る方はベランダより階下に行ける事を説明しています		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	◎見守りやすい位置に職員がいる事を徹底している。 ●周りに目配り気配りをして利用者様が安全に生活出来る様にしている。 ○常に居場所を把握し外に出られた方は一緒に行動しています。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	◎誤飲を防ぐ為管理する場所を決めている。 ●利用者様1人1人に応じ対処しているが常に家族とのやりとりや話し合いをする中で取り組んでいる。 ○危険物品は別管理して利用者様が必要と申し出のある場合、見守りの中使用して頂いています。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	◎講習会を開いたりミーティングでの話し合いに取り入れている。個人の持つリスクを理解している。 ●常に目配り気配り言葉がけを行い利用者様にも気を付けて頂ける様に働きかけている。 ○喫煙場所の設置。食事中は各テーブルにスタッフも一緒に食事し飲み込みに注意をしています。服薬時は利用者様に手渡し、服用されたのを確認します。	○	●職員間の中でいろんな角度から利用者様の場所を把握出来る様にしている。防げる事故が起こらない様すぐ対処出来る様勉強していきたい。 ○リーダースタッフ間の連携、連結を怠る事のない様にしています。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	◎消防の職員を招き救急法を学んでいる。講習会の機会も多く取り入れている。 ●利用者様の事を話し合い考える事故を話し合いながら解らない対応はリーダーに聞きながら行っている。 ○緊急連絡網を所持し備えています。応急手当の訓練も受けていますがその場で落ち着いた対応が出来るか心配です。	○	●意識不足の為研修やリーダーに話しを聞き勉強したいと思います。 ○研修等で勉強をしたいです。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	◎定期的に訓練を行っている。マニュアルも作っている。 ●避難訓練は行っているがその時の利用者様の動きを常に考えるが、毎回違った反応があるので、どんな場合にも対応出来る様話し合っている。 ○その場になると落ち着いて対応する事が難しいと思います。	○	◎夜間帯での事故発生時の不安を抱える職員に対し夜間で訓練方法はないだろうか？と思う。実現につなげて行きたい。 ○避難訓練を勉強していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	◎状態に応じた状況を家族に説明し家族への連絡は常にしている。 ●利用者様のリスクについてはよく話し合い家族への理解して頂ける様考えている。 ○携わっておりません。	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	◎職員間で報告する事を義務化されていて状況に応じて対応している。早期発見・早期対応の取り決めがある。 ●体調の変化に気づく様日々観察に気を配るよう心がけている。又異常があるときはリーダーの意見を聞き対応している。 ○日々の生活状態を把握し変化や異変に気付いた際、すぐリーダーに報告いたします。	
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	◎職員間で共有し服薬の用法をいつでも見られる様にしてある。日頃よりチェックしている。 ●1人1人のリスクや服薬を理解し体調変化に気を付けている。 ○薬剤情報提供書を読み、日頃の容態に気を配っています。解らない時はリーダーに相談しています。	
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	◎食材やメニューに工夫している。散歩・運動も積極的に行っている。 ●食事や水分量には気を付け便秘にならない様適度な運動をする様に働きかけている。 ○偏った食事にならず、牛乳・ヨーグルト等摂取して頂いています。排泄表のチェックで便器気味の方は医師、リーダーに相談しています。	
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	◎毎食後、実施されている。義歯の管理は確実にされている。 ●1度は利用者様にして頂き、磨き残しのある時は職員で口腔ケアを行う様にしている。 ○食後口腔ケアを面倒がる人には声かけし実施して頂き自力で出来ない方には介助しています。	
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	◎水分補給は多い、偏りが無い様に心がけている。残食量を把握し入居者個人に合わせている。 ●病歴や体重変化や動きに応じて食事や水分の量を考えた対処をしている。 ○食事、水分摂取量を記載し利用者様に対し食べやすい大きさ好きな食べ物飲み物を偏らないようにして頂いています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	◎感染症の流行には随時対応している。 ●外から戻った時は手洗いうがいをする様になっている。 ○外出から戻った時のうがいをしています。	○	◎職員の少ない時間帯等の利用者の不安や混乱が起こりやすい時の柔軟な対応が出来る様工夫していきたい。中には勉強不足の人もある。自分も含めて勉強会の機会を増やし誰でも理解出来る様なレジメを作る努力をする。 ●感染症に対してまだ勉強不足な事が多いので少しずつでも勉強出来る機会があればと思う。 ○リーダーに聞いたり研修に参加したいです。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	◎調理用具の消毒は日を決めて行っている。一日置きの買い物で古い食材は使用していない。 ●買い物は基本的に1日おきに行き、常に新鮮な物を口にして頂ける様にしている。 ○食器調理器具は曜日は決め、殺菌消毒に努めています。生鮮食品は買い置きをしない様にしています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	◎玄関にはベンチがあり休める様になっており、事務所からはさりげなく出入りが見える様になっている。事務所側からの威圧感はない。 ●玄関は広く、段差のない作りになっている。 ○歌壇には四季の花を植え、玄関を明るくし外回りの掃除をしています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	◎日中フロアで過ごされる方が多いのは、安心感のある場所であると思っている。シンクは背の低い方にも対応出来る高さになっており、ホーム側より入居者の好みにあわせている。 ●共有フロアには花や季節の物を置くようにし明るい空間で心地よく過ごして頂ける様にしている。 ○季節の花を飾ったり行った場所の写真を掲示板に貼ってあります。共用空間は一緒に掃除をしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	◎入居者同士の関係の変化に応じ、環境を作っている。1人になれるスペースを作り過ごしている。 ●気の合う方との会話が楽しめる様に話題作りを工夫している。 ○食卓の座る場所を変えたり平等に会話がして頂ける様配慮したりのんびり出来る様ベランダ、和室を利用して頂いています。		



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	◎家族の方は新しい物で揃える方もいたが、安心して 安らぎを得る様にホーム側が配慮している。日中は共 用空間で過ごされる方が多く眠るだけの方だけの方も いるが個人らしさがでている。 ●居室は出来るだけ家族と一緒に過ごし易いようにし て頂いている。 ○生花、写真、仏壇、鏡台筆筒等、利用者様の思い出 の品が置かれており、その人にあった部屋になってい ます。		
84 ○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のおよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	◎冷暖房の温度調節は適切に行っている、職員のレベ ルではない。出来るだけ自然環境に近い環境を行うよ う努力している。 ●まめに空気に入れ替えや温度調節をする様に心がけ ている。 ○利用者様に確認し換気、空調の調節をしています。		
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	◎現在の状態に応じて、環境の改善には取り組んでい る。台所の高さは利用者様の負担にならないよう になっている。 ●自由に過ごせれる様、安全に過ごして頂けるよう気 を付けている。 ○トイレ浴室廊下にはバーを取り付け安心して暮らせ るようにしている。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	◎以前は混乱を招く人居りもおり室内の環境など調整 を日常的にしていたが、現在のところ混乱や失敗はな い。台所・ゴミ箱は混乱しないよう説明書きがしてあ る。 ●1人1人の得意な事を活かし介助しながら行って頂 ける様にしている。 ○利用者様がボタンかけ等自分でされるのを待つ介護 とか混乱されたときは話をよく聴き、落ち着いて頂 ける様努力しています。		
87 ○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	◎植木の手入れ・畑仕事など、楽しみの場もあり、そ れぞれの役割の中で残された機能を活かすよう、取 組んでいる。日向ぼっこを楽しんだり、戸外で過ごす 時間も多し。 ●お天気が良い日は日向で日光浴をして頂いたりゆっ くりと過ごして頂ける様椅子を置いたりしている。 ○ベランダにはテーブル椅子を設置し自由に活用して 頂いています。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

◎ レベル低下の防止の為、運動の強化、脳の活性化、外出先の選択は利用者様主体が多いです。皆で助け合い、弱い人を助けている光景はいい感じ！です。時には喧嘩あり、笑いあり、涙ありの楽しい大家族です。人生の大先輩にケアする、と言うより家族で楽しく生活している様なフロアです。「生きてるって素敵！」って思えるホームです。

●介護職につき、あっという間に1年が過ぎようとしている。今までは先輩やリーダーに頼り行ってきた。少しずつ自分で間栄え行動が出来る様にしていきたい。この1年で認知症について解ってきた様な気がします。もっと心配りが出来る対応が出来る様にしたい。自分の中で1日に1回は全ての利用者に笑って頂いたり大きな声を出したりと今日のあの時が楽しかったと思って頂ける様に取り組んでいきたいです。

○この職場は外出が多く、遠足・買い物・モーニング・ボランティアの訪問もあり活気があります。掃除、洗濯干し、食事作りも積極的にされる利用者様もあり家庭での暮らしが実施されてると思います。体の不自由な方が手を貸されたりアットホームな生活を送って見えます。